

車への取り付けは、必ずこの取付説明書と別冊の「安全上のご注意」に従って正しく行ってください。指定以外に取り付け方や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。

販売店様へ

接続、取り付け作業が完了しましたら、この取付説明書はお客様へお渡しください。

※ 別売製品の接続および取り付けについては、別売製品に付属の説明書も併せてご覧ください。



PRINTED WITH
SOY INK™

この説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

© パイオニア株式会社 2009

< KAMZF > < 09C00000 > < CRA4272-A >

作業の進めかた

① はじめに

- 接続・取り付け部品を確認する — 2ページ

② 接続のしかた

- 接続の前に知ってほしいこと — 6ページ
- 接続端子の名称と働き — 8ページ
- システムの接続 — 10ページ
- 電源コードの接続 (1) — 12ページ
- 電源コードの接続 (2) — 14ページ
- RGB変換BOX用電源の接続 — 16ページ
- フィルムアンテナ用電源の接続 — 17ページ
- 携帯電話・通信モジュールの接続 — 18ページ
- 専用のFM多重用アンテナを接続する場合 — 20ページ

③ 取り付けかた

- 取り付けの前に知ってほしいこと — 22ページ
- ナビゲーション本体の取り付け — 23ページ
- RGB変換BOXの取り付け — 27ページ
- GPSアンテナの取り付け — 28ページ
- 音声認識用マイクの取り付け — 30ページ
- リモコンの取り付け — 32ページ
- フィルムアンテナの取り付け — 36ページ

④ 接続・取り付けが終わったら

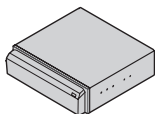
- 接続・取り付けの確認を行う — 42ページ
- 取付角度の設定を行う — 44ページ
- リモコンの設定を行う — 45ページ
- センサー学習のエラーメッセージ — 46ページ

メモ

- 接続・取り付けが終わったら、必ず接続・取り付けの確認 (※ 42~44ページ) を行ってください。

接続・取り付け部品を確認する

ナビゲーション本体関係



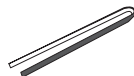
ナビゲーション
本体 × 1



バインドネジ
(5 × 6 mm) × 4



皿ネジ
(5 × 6 mm) × 4



目隠しシール
× 1

別売の取付キット関係



プッシュ × 1



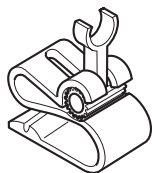
ネジ × 1

※ プッシュを使用したナビゲーション本体の取り付けを行う場合、本機に付属のネジとプッシュを使用してください。別売の取付キットに同梱のネジ、プッシュを使用すると、正しく取り付けられないためナビゲーション本体の故障の原因となります。

音声認識用マイク関係



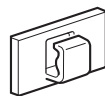
音声認識用マイク
(φ2.5mm) × 1



マイククリップ × 1

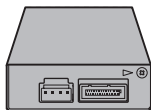


両面テープ
(23 × 14 mm) × 1

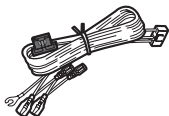


クランパー × 3

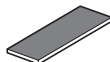
RGB変換BOX関係



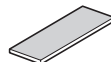
RGB変換BOX
× 1



RGB変換BOX用
電源コード × 1



面ファスナー
かたい方 × 2

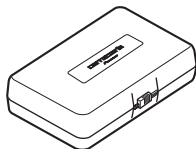


面ファスナー
やわらかい方 × 2

ブレインユニット関係

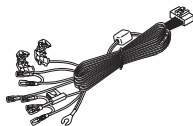


ブレインユニット × 1

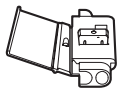


キャリングケース × 1

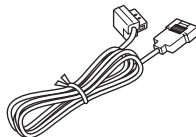
接続ケーブル関係



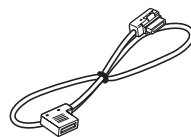
電源コード × 1



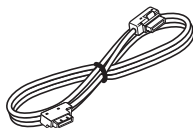
Uエレメント
コネクター × 1



携帯電話接続中継
ケーブル × 1



30ピンRGB延長
ケーブル × 1

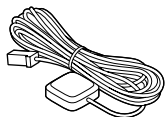


34ピンRGBケーブル
× 1

接続・取り付け部品を確認する

つぎ

GPSアンテナ関係



GPSアンテナ × 1



金属シート × 1



クランパー × 5



防水パッド × 1

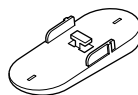
リモコン関係



リモコン × 1



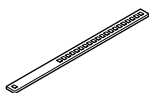
リチウム電池
(CR2032) × 1



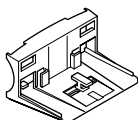
リモコンホルダー × 1



両面テープ × 1

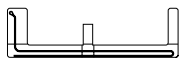


ベルト × 2



ステアリング
ホルダー × 1

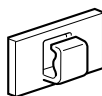
フィルムアンテナ関係



フィルムアンテナ
× 1



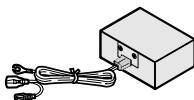
アンテナケーブル × 1



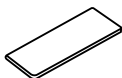
クランパー × 3



クリーンクロス × 1



フィルムアンテナ
電源ユニット × 1



両面テープ
(50 × 20 mm) × 1

接続の前に知ってほしいこと

— 必ず車のバッテリーの⊖端子を外してから接続してください —

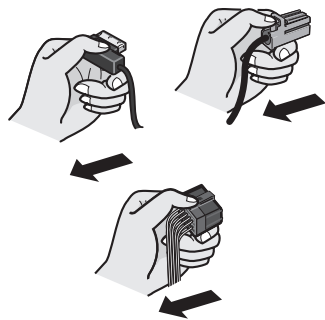
接続上のご注意

- 黒リード線（アース）は、パワーアンプやメインユニットなどの消費電流が大きい製品のアースとは別々に取り付けてください。まとめて取り付けると、ネジが緩んだり外れたりしたとき、製品の発煙・故障の原因となるおそれがあります。
- 赤リード線（アクセサリ電源）は、常にバッテリーから電源が供給される電源回路には接続しないでください。接続すると車のバッテリーが消耗します。
- 若草色リード線（パーキングブレーキスイッチ）は、必ずパーキングブレーキスイッチの電源側に接続してください。接続しないと一部の機能が使用できなくなります。
- 本機は、エンジンスイッチにACCポジションがない車では使用できません。絶対に取り付けないでください。取り付けると、バッテリー上がりの原因になります。
- 必ず付属の部品を指定どおりに使用してください。指定以外の部品を使用すると故障するおそれがあります。
- ガラスアンテナ車など、アンテナブースターの電源がある場合、必ず本機の青リード線（アンテナコントロール）を車側のアンテナブースターの電源に接続してください。接続を忘れるとラジオ放送の受信ができません。

アンテナブースターの電源の位置は、車種によって異なります。詳しくは、取り付け技術のある販売店にご相談ください。

コネクターの着脱のしかた

- コネクターは、“カチッ”と音がするまで押し込んで、確実に接続してください。スムーズに入らない場合は、色が間違っている可能性がありますので、コネクターどうしの色を確認してください。また、無理に挿入しないでください。故障の原因となる場合があります。
- コネクターを外すときは、図のようにコネクター部分を持ってロックを押しながら、引っ張ってください。コードを引っ張るとコードが抜けてしまうことがあります。



接続のポイント

ノイズ防止のために

- ノイズ防止のため、次のものはナビゲーション本体や他のケーブル類、コード類からできるだけ離して配置してください。
 - * フィルムアンテナおよびそのアンテナコード
 - * FM/AMアンテナおよびそのアンテナコード
 - * GPSアンテナおよびそのアンテナコード
 - * FM多重用アンテナおよびそのアンテナコード
 - * ピーコン受信機およびそのアンテナコード
- それぞれのアンテナコードどうしてもできるだけ離してください。一緒に束ねたり、重ねたり、交差させたりしないでください。アンテナやアンテナコードにノイズが飛び込むと受信感が悪くなります。

電源配線キットを別売しています

- システム全体の消費電流が大きくなると、電圧が不足する場合があります。そのようなときは、バッテリーから直接電源をお取りください。当社では、電源配線キット「RD-221」を別売していますので、販売店にご相談ください。

携帯電話接続ケーブルまたは、Bluetoothユニットを別売しています

- 当社では、携帯電話と組み合わせるための携帯電話接続ケーブルまたは、Bluetoothユニットを別売しています。
 - * FOMA用ケーブル「CD-H15」(2 m)
 - * CDMA1X WIN用ケーブル「CD-H16」(2 m)
 - * Bluetoothユニット「ND-BT10」*
*Bluetooth AUDIO機能は使用できません。

メモ

- 本機に、PDC用ケーブル「CD-H13」および CDMA 1X/cdmaOne用ケーブル「CD-H14」および Bluetoothユニット「ND-BT1」は接続できません。

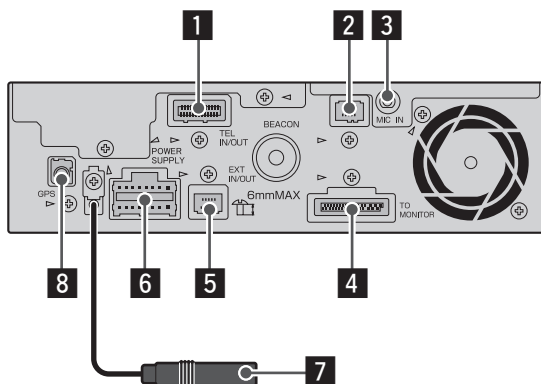
ピンクリード線の接続について

- ピンクリード線（車速信号入力）は、内蔵の3Dハイブリッドセンサー用のリード線です。必ず接続してください。
- ピンクリード線を接続しない場合は、簡易ハイブリッド方式で動作し、測位誤差が大きくなる場合があります。(※ 『ナビゲーションブック』の「ナビゲーションのしくみ」)
- ピンクリード線を車の車速検出回路に接続するのが困難な場合は、車速パルス発生機「ND-PG1」(別売)をお使いください。

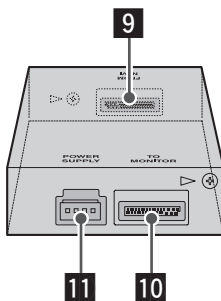
接続端子の名称と働き

— 必ず車のバッテリーの⊖端子を外してから接続してください —

ナビゲーション本体



RGB変換BOX



ナビゲーション本体

1 通信機器接続端子（赤）

通信機器や拡張ユニットが接続できます。
(18～19ページ)

2 ビーコンユニット接続端子（青）

別売のVICS用ビーコンユニットが接続できます。(10～11ページ)

3 音声認識用マイク入力端子（黒）

付属の音声認識用マイクを接続します。
(10～11ページ)

4 34ピンRGB出力端子（黒）

付属の34ピンRGBケーブルで、RGB変換BOXに接続します。(10～11ページ)

5 拡張入出力端子（黒）

別売のDSRCユニットやETCユニットが接続できます。(10～11ページ)

6 電源端子（黒）

付属の電源コードを接続します。
(12～15ページ)

7 FM多重用アンテナ入力端子

付属のフィルムアンテナを接続します。
(10～11ページ)

付属のフィルムアンテナでは十分感度が得られない場合は、専用のFM多重用アンテナを接続できます。(20ページ)

8 GPSアンテナ接続端子（緑）

付属のGPSアンテナを接続します。
(10～11ページ)

RGB変換BOX

9 34ピンRGB入力端子（黒）

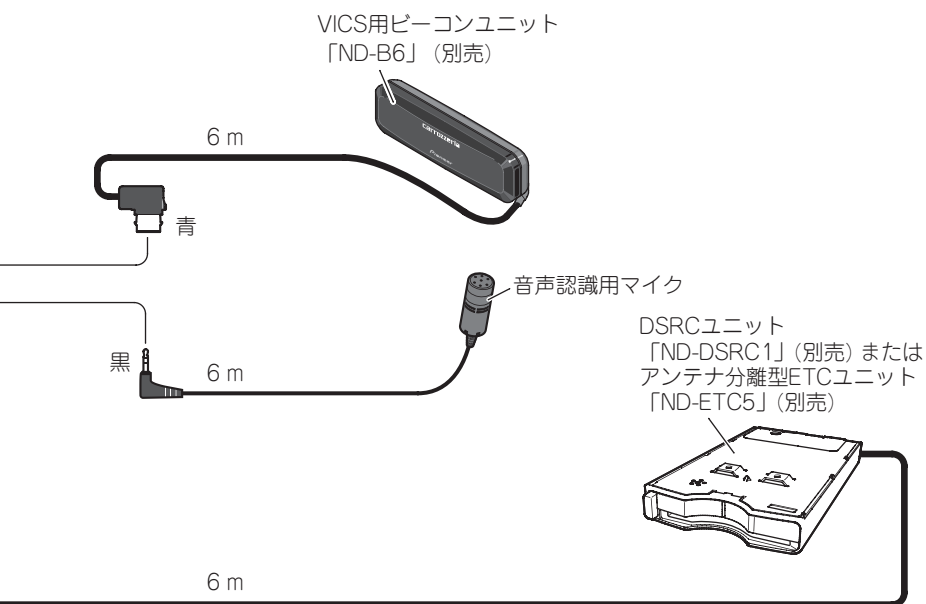
付属の34ピンRGBケーブルで、ナビゲーション本体に接続します。
(10～11ページ)

10 30ピンRGB出力端子（若草色）

付属の30ピンRGB延長ケーブルで、AVユニットに接続します。
(10～11ページ)

11 電源端子（白）

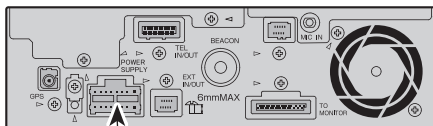
付属のRGB変換BOX用電源コードを接続します。(16ページ)



電源コードの接続 (1)

— 必ず車のバッテリーの⊖端子を外してから接続してください —

ナビゲーション本体

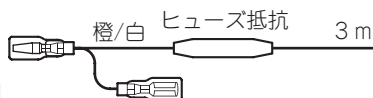


電源コード*
黒

注：ナビゲーション本体をトランクに取り付けるときは、別売のフリースペース電源配線キット「AD-F60」（6m）の電源コードを接続します。この場合、本機に付属の電源コードは使用しません。

イルミ電源

車のライトをONにしたときに電源が供給される電源回路（時計の照明回路やスモールランプ回路など）に接続してください。



3 m

アンテナリモートコントロール

FM多重用アンテナ分配器「RD-FD20」（別売）を使用して車載のアンテナを接続するときのみ使用します。「RD-FD20」の青/黒リード線（アンテナリモートコントロール）に接続してください。

車載のアンテナがオートアンテナの場合、エンジンスイッチのON（本機の電源ON）に連動してアンテナが上がります。屋内ではご注意ください。立体駐車場などでアンテナを下げるには、あらかじめカスタムキーに「アンテナコントロールをON/OFFする」を割り当てておく必要があります。（『ナビゲーションブック』－「カスタムキー設定」）

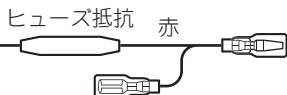


3 m

1.5 m

他のリード線の接続は
(14~15ページ)

注：赤、橙/白、黄リード線は車のヒューズユニットを通した後の端子に接続してください。

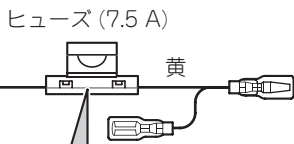


アクセサリ電源

車のエンジンスイッチをACCポジションにしたときに電源が供給される電源回路に接続してください。

エンジンスイッチにACCポジションがない車には絶対に取り付けしないでください。バッテリー上がりの原因になります。

注：電源リード線の、ヒューズおよびヒューズ抵抗から本体の間に、他の機器のリード線を接続しないでください。



+バッテリー電源

車のエンジンスイッチのON/OFFに関係なく、常にバッテリーから電源が供給される電源回路に接続してください。

注：ヒューズを交換するときは、必ず同じ容量のヒューズと交換してください。



アース

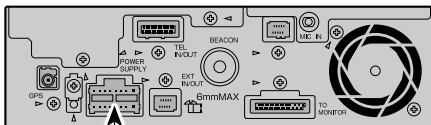
車のボディの金属部に確実に接続してください。ノイズ防止のため、できるだけナビゲーション本体の近くに接続してください。

注：製品の発煙・故障を防ぐために、黒リード線を必ずいちばん初めに接続してください。

電源コードの接続 (2)

— 必ず車のバッテリーの⊖端子を外してから接続してください —

ナビゲーション本体



電源コード
黒

他のリード線の接続は
(P.12~13ページ)

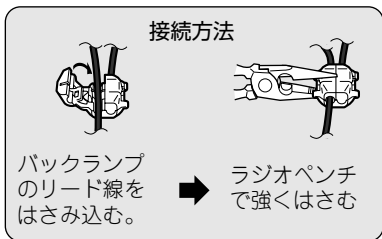
6 m

バック信号入力

この接続は車の前進/後退を判断するためのものです。バックランプのリード線の「シフトレバーをリバースの位置にしたときに電圧が変化するリード線」に接続してください。

※接続しないと前進後退を正しく検知できないことがあるため、自車位置がずれる場合があります。

2.1 m



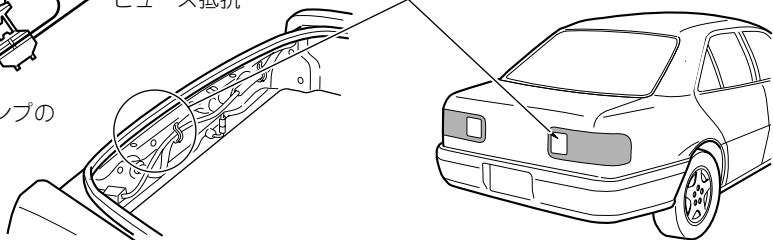
紫/白
8 m

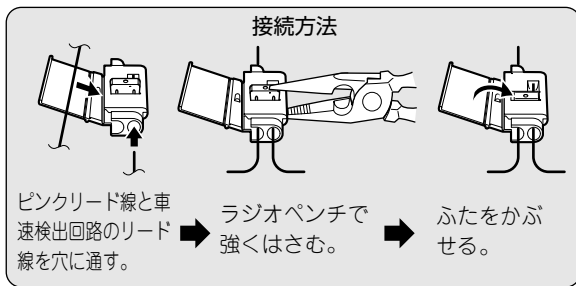
注：電源リード線の、ヒューズ抵抗から本体、およびヒューズ抵抗から本体の間に、他の機器のリード線を接続しないでください。

バックランプ(シフトレバーがリバース [R] のときに点灯するランプ)の位置を確認し、トランク内から、バックランプのリード線を取り出します。

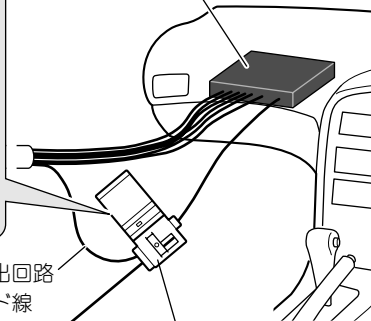
ヒューズ抵抗

バックランプの
リード線





車のインジェクションコンピューター



ピンク

車速信号入力

車の走った距離を検出するために使用します。必ず車の車速検出回路に接続してください。(車の車速検出回路への接続が困難な場合は、車速パルス発生機「ND-PG1」(別売)を接続することもできます。)

注：必ず付属のUエレメントコネクターを使用してください。指定以外の物を使用すると接触不良の原因となります。

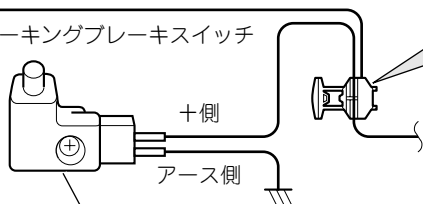
インジェクションコンピューターの車速検出回路の位置は、車種によって異なります。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

パーキングブレーキスイッチ

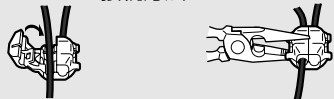
車が停車していることを確認するために使用します。必ずパーキングブレーキスイッチの+側リード線に接続してください。

若草色

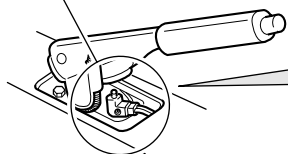
パーキングブレーキスイッチ



接続方法



パーキングブレーキスイッチの+側リード線をはさみ込む。 → ラジオペンチで強くはさむ。

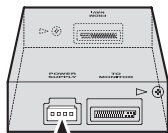


パーキングブレーキスイッチの位置は、車種によって異なります。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

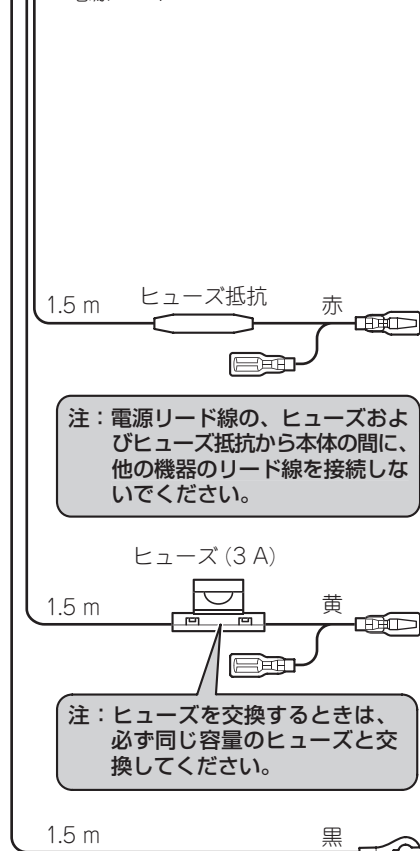
RGB変換BOX用電源の接続

— 必ず車のバッテリーの⊖端子を外してから接続してください —

RGB変換BOX



RGB変換BOX用電源コード



注：赤、黄リード線は車のヒューズユニットを通したあとの端子に接続してください。

注：電源リード線の、ヒューズおよびヒューズ抵抗から本体の間に、他の機器のリード線を接続しないでください。

注：ヒューズを交換するときは、必ず同じ容量のヒューズと交換してください。

注：製品の発煙・故障を防ぐために、黒リード線を必ずいちばん初めに接続してください。

アクセサリ電源
車のエンジンスイッチをACCポジションにしたときに電源が供給される電源回路に接続してください。
エンジンスイッチにACCポジションがない車には絶対に取り付けしないでください。バッテリー上がりの原因になります。

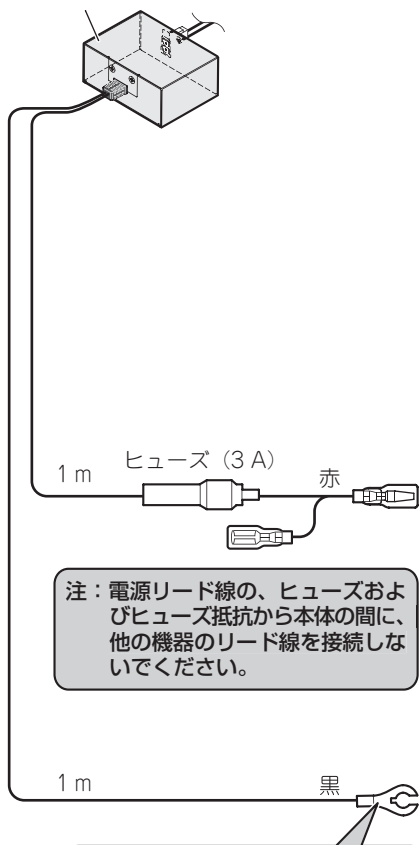
+バッテリー電源
車のエンジンスイッチのON/OFFに関係なく、常にバッテリーから電源が供給される電源回路に接続してください。

アース
車のボディの金属部に確実に接続してください。ノイズ防止のため、できるだけナビゲーション本体の近くに接続してください。

フィルムアンテナ用電源の接続

— 必ず車のバッテリーの⊖端子を外してから接続してください —

フィルムアンテナ
電源ユニット



注：赤リード線は車のヒューズユニットを通したあとの端子に接続してください。

アクセサリ電源

車のエンジンスイッチをACCポジションにしたときに電源が供給される電源回路に接続してください。

エンジンスイッチにACCポジションがない車には絶対に取り付けしないでください。バッテリー上がりの原因になります。

注：電源リード線の、ヒューズおよびヒューズ抵抗から本体の間に、他の機器のリード線を接続しないでください。

アース

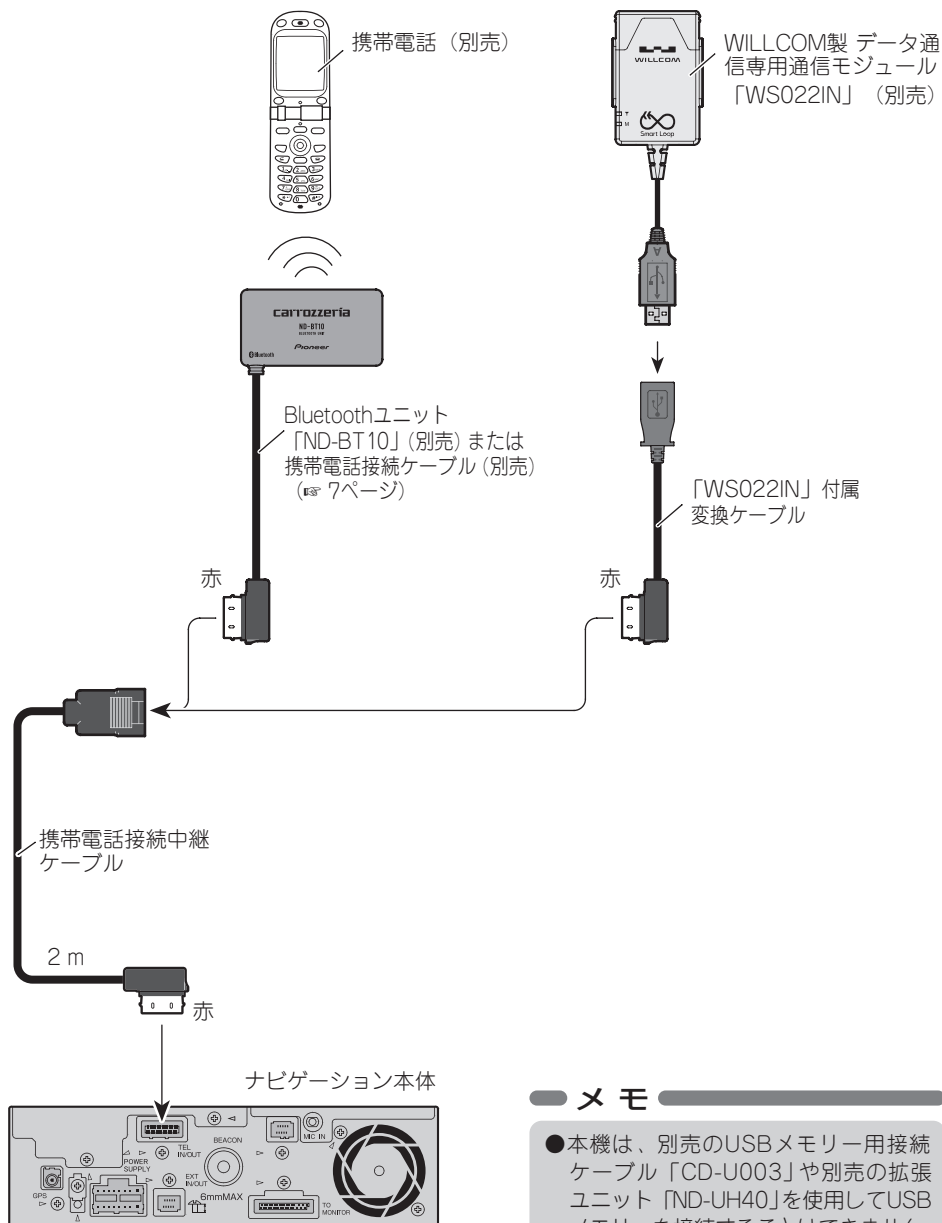
車のボディの金属部に確実に接続してください。ノイズ防止のため、できるだけナビゲーション本体の近くに接続してください。

注：製品の発煙・故障を防ぐために、黒リード線を必ずいちばん初めに接続してください。

携帯電話・通信モジュールの接続

— 必ず車のバッテリーの⊖端子を外してから接続してください —

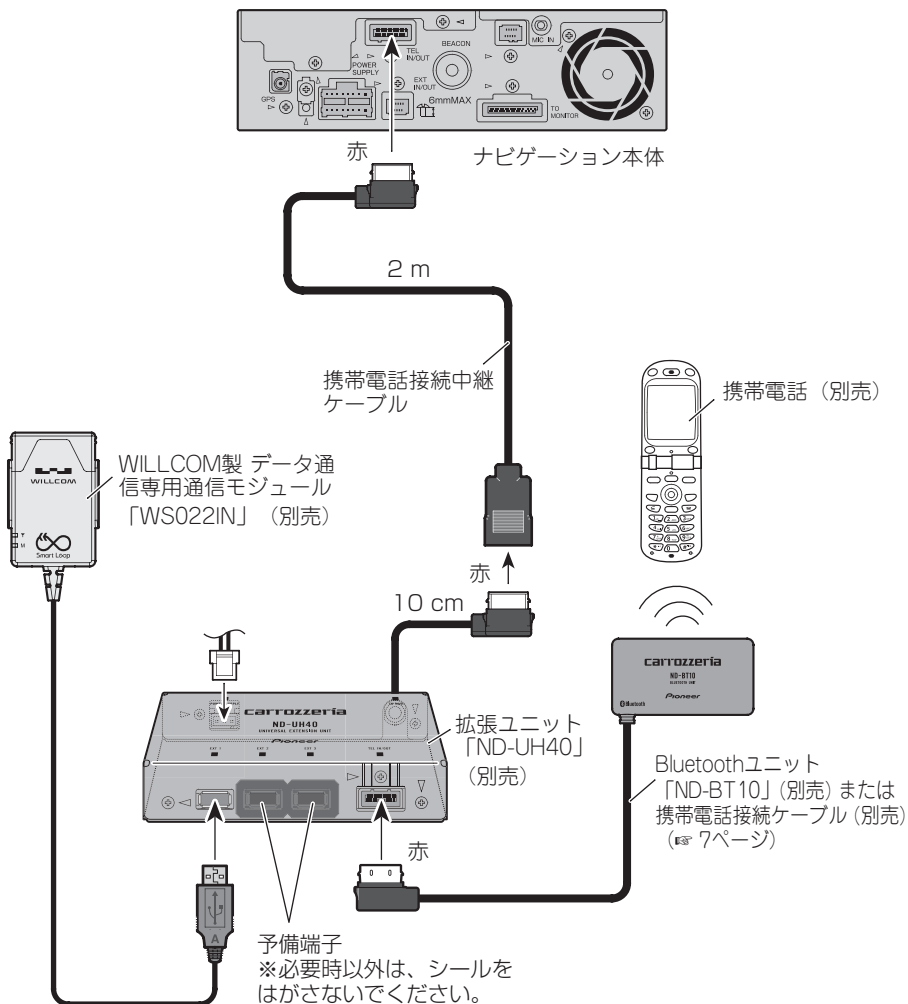
携帯電話または通信モジュールのどちらか片方を接続する場合



メモ

- 本機は、別売のUSBメモリー用接続ケーブル「CD-U003」や別売の拡張ユニット「ND-UH40」を使用してUSBメモリーを接続することはできません。

携帯電話と通信モジュールを同時に接続する場合

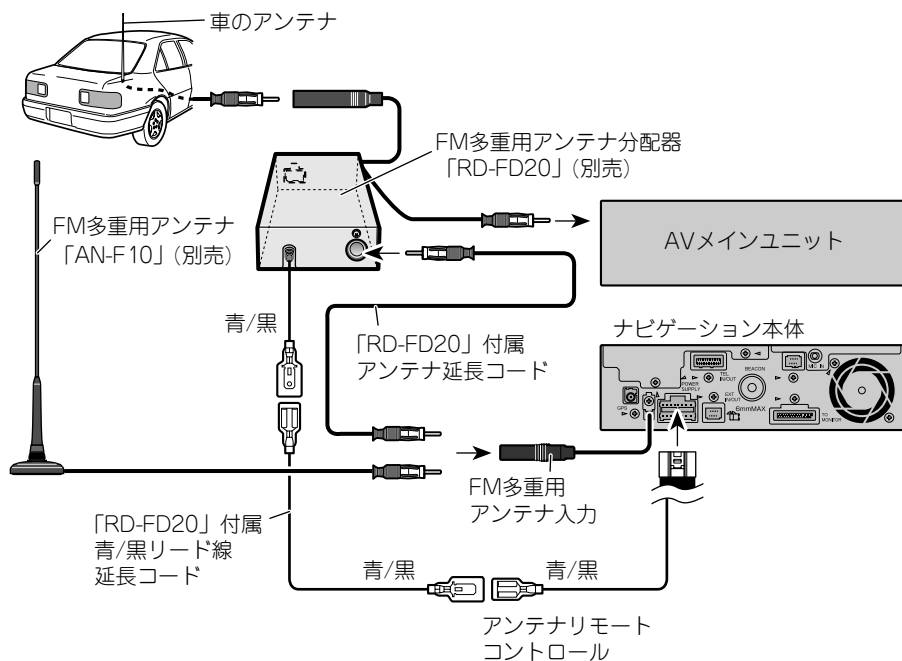


専用のFM多重用アンテナを接続する場合

— 必ず車のバッテリーの⊖端子を外してから接続してください —

- 車種や電波状況によって、付属のフィルムアンテナではVICS/FM多重放送が十分受信できない場合があります。その場合は、FM多重用アンテナ「AN-F10」（別売）を接続するか、FM多重用アンテナ分配器「RD-FD20」（別売）を使用して車載のアンテナを接続できます。
- 車載のアンテナがガラスアンテナの場合は十分な受信感度が得られないことがあります。その場合は、FM多重用アンテナ「AN-F10」（別売）を接続することをおすすめします。

FM多重用アンテナ「AN-F10」（別売）または、FM多重用アンテナ分配器「RD-FD20」（別売）を使用して車載のアンテナを接続します。



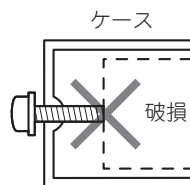
メモ

- オートアンテナ車にFM多重用アンテナ分配器「RD-FD20」（別売）を接続した場合、エンジンスイッチのON（本機の電源ON）に連動してオートアンテナが上がります。屋内ではご注意ください。立体駐車場などでオートアンテナを下げるには、カスタムキーに「アンテナコントロールをON/OFFする」を割り当てておく必要があります。（『ナビゲーションブック』－「カスタムキー設定」）
割り当てたカスタムキーを押すとアンテナが下がります。再度押すとアンテナが上がります。

取り付けの前に知ってほしいこと

取り付け上のご注意

- 必ず本機に付属のネジを使用して、指定どおりに取り付けてください。車種別取付キットに付属のネジや純正カーステレオを取り付けていたネジは使用できません。本機に付属以外のネジを使用すると、故障の原因となります。



取り付けのポイント

取り付け、固定する前に

- まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから、取り付けを行ってください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

取付キットを別売しています

- 車種や年式によっては、別売のパイオニア製取付キットを使用しないと、取り付けかないこともあります。当社では車種別専用取付キットを用意しておりますので、販売店にご相談ください。
- 日産車に取り付ける場合は、車種や年式によって別売の日産車用取付化粧パネル「AD-N980」が必要になることがありますので、販売店にご相談ください。
- ナビゲーション本体をシート下に取り付ける場合は、別売の床面用取付金具「AD-F100」(P.26ページ)をお使いください。
- ナビゲーション本体をトランクに取り付ける場合は、別売のフリースペース電源配線キット「AD-F60」(6 m) (P.26ページ)および34ピンRGBケーブル「CD-RGB455」(5.5 m)をお使いください。

粘着テープを貼り付ける前に

- 面ファスナーや両面テープを貼り付けるところは、汚れをよくふきとってください。

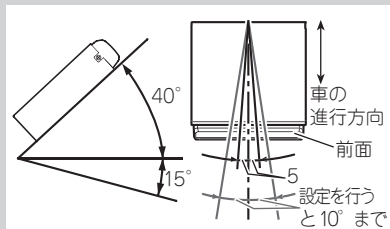
ノイズ防止のために

- ノイズ防止のため、次のものはナビゲーション本体や他のケーブル類、コード類からできるだけ離して配置してください。
 - * フィルムアンテナおよびそのアンテナコード
 - * FM/AMアンテナおよびそのアンテナコード
 - * GPSアンテナおよびそのアンテナコード
 - * FM多重用アンテナおよびそのアンテナコード
 - * ビーコン受信機およびそのアンテナコード
 それぞれのアンテナコードどうしてもできるだけ離してください。一緒に束ねたり、重ねたり、交差させたりしないでください。アンテナやアンテナコードにノイズが飛び込むと受信感度が悪くなります。

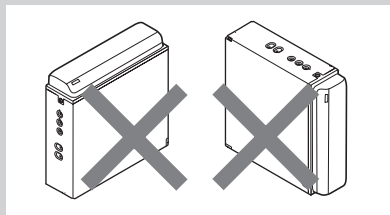
ナビゲーション本体の取り付け

取り付け上のご注意

- ナビゲーション本体にはジャイロセンサーが内蔵されています。本機の性能を十分に発揮するために、上下の傾きはできるだけ水平に取り付けてください。傾けて取り付ける場合は、水平に対して上の傾き40度以内、下の傾き15度以内の角度で取り付けてください。左右の傾きは車の進行方向に対してナビゲーション本体の前面が5度以内の角度で取り付けてください。5度以上10度以内のコンソールに取り付ける場合は、「取付角度の設定を行う」(P.44ページ)で向き設定してください。



- 縦置きや、裏返して取り付けることはできません。



- しっかりと固定できる場所を選んで取り付けてください。しっかりと固定されていないと、現在地を正しく表示できなくなります。

- 放熱を妨げないために、下図の部分を書かないように配置してください。



- 必ず本機に付属のネジを使用して、指定どおりに取り付けてください。本機に付属のネジ以外を使用すると、故障の原因となります。
- 次のような場所には絶対に取り付けしないでください。高温により故障するおそれがあります。
 - *ダッシュボードやリアトレイの上のように、直射日光の当たる場所。
 - *ヒーターの吹き出し口の近く。
- ドア近くの雨水がかかりやすい場所には取り付けてください。
- ヒーターダクト上など、車の振動で動く場所には絶対に取り付けしないでください。
- 荷物などが当たる場所には取り付けしないでください。強い衝撃が加わると、現在地を正しく表示できなくなります。
- スペアタイヤ、ジャッキ、工具などの出し入れの邪魔にならない場所を選んで取り付けてください。
- ナビゲーション本体を設置する床面の下部に、マフラー等の高温になるものがあり、床面が熱くなるような場合、保護回路が働き動作停止することがあります。このような場所には取り付けしないでください。

取り付けのポイント

取り付け方法には次の2種類があります。

- コンソールに取り付ける

付属のネジを使用して、車のコンソールなどのオーディオスペースに取り付けます。(P.24ページ)

- 床面や取付ボードに取り付ける

別売のフリースペース電源配線キット「AD-F60」に付属の取付金具 または 別売の床面用取付金具「AD-F100」を使用して、床や取付ボードに取り付けます。(P.26ページ)

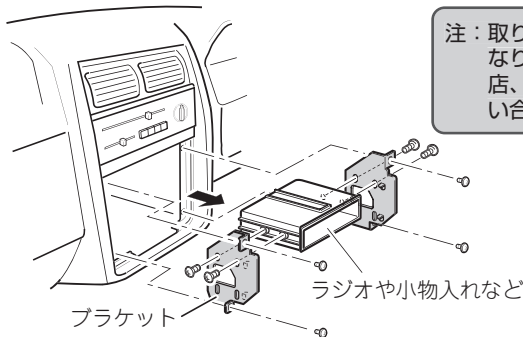
ナビゲーション本体の取り付け

つづき

コンソールに取り付ける場合

1 車両のラジオ、小物入れなどを取り外す

ラジオ、小物入れなどを取り外し、それらを止めているブラケットを取り外します。そのブラケットを使用して、本機を取り付けます。



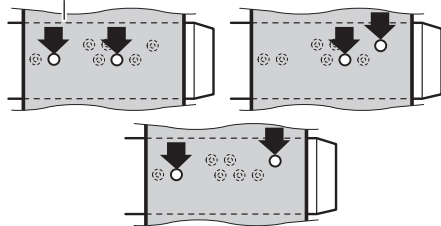
注：取り外すネジの位置などは車種により異なります。詳しくは、お買い上げの販売店、または、最寄りのディーラーにお問い合わせください。

2 ネジ止めする位置を確認する

ブラケットを本機に重ねて、ネジ穴が合う位置を確認してください。ブラケットのネジ穴は次のタイプがあります。

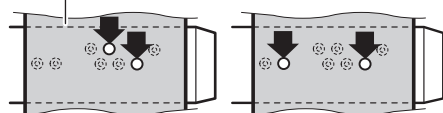
トヨタ車の場合

トヨタ車ブラケット



日産車の場合

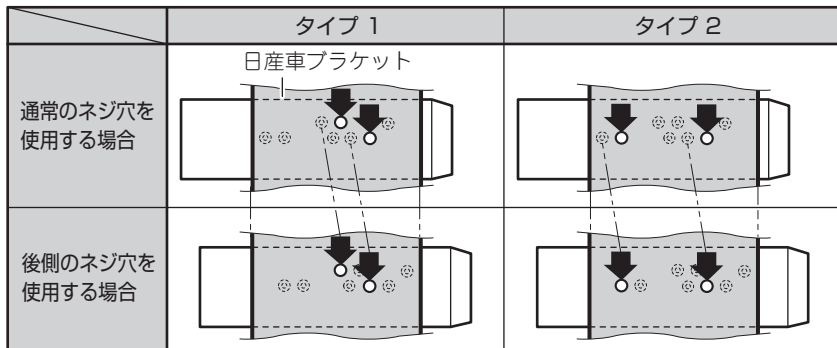
日産車ブラケット



■ 取り付けスペースの奥行きが少ない車に取り付ける場合

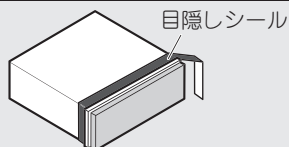
本機の奥行きは、カーステレオよりもやや長くできています。通常のネジ穴の位置でコンソールに収納できない場合は、使用するネジ穴を後側にずらして取り付ける事も可能です。

例：日産車の場合



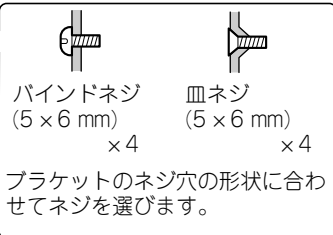
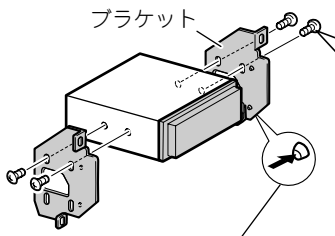
取り付けスペースの奥行きが少ないなどの理由で「後側のネジ穴を使用する場合」には、加工するなどして、必ず片側2カ所ずつネジ止めしてください。片側1カ所止めの場合、音飛びや現在地を正しく表示できなくなるなどの原因となります。また、車種によっては窓パネルの加工なども必要となりますので、商品の取り付けにあたっては、お買い上げの販売店にご相談ください。

ネジ穴を後方にずらして取り付けた場合は、付属の目隠しシールを本機前面に貼り付けます。その際、AVユニットと重ねて取り付ける場合は、重なる部分には貼り付けません。



3 ブラケットを 付属のネジで取り付ける

左側、右側、それぞれ2カ所ずつ、付属のネジでネジ止めして、元どおり車に取り付けます。



車両側のブラケットの凸部やツメがじゃまになり、浮いてしまう場合は、それらをハンマーなどでつぶす必要があります。

*作業の際には安全に十分ご注意ください。

注：付属のネジ以外は使用しないでください。付属のネジよりも長いネジを使用すると、本機内部の部品をいためることがあります。

ナビゲーション本体の取り付け

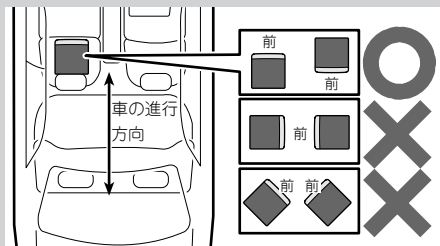
つづき

別売のキットを使用して床や取付ボードに取り付ける場合

床や取付ボードに取り付ける場合は、別売のフリースペース電源配線キット「AD-F60」に付属の取付金具 または 別売の床面用取付金具「AD-F100」を使用します。

取り付ける向きについてのご注意

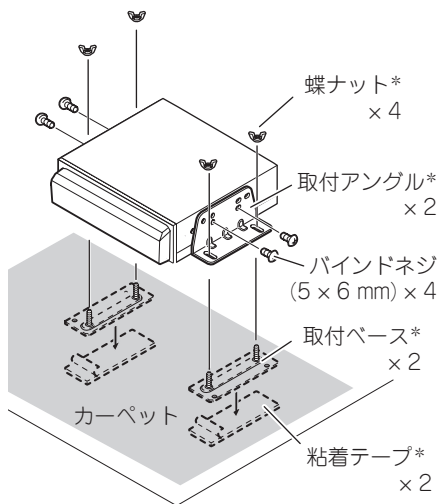
- ナビゲーション本体の前面が、車の進行方向に対して直角になるように取り付けてください。斜めまたは平行には取り付けないでください。車の進行方向に対して斜めまたは平行に取り付けると、現在地を正しく表示できなくなります。



1 別売のキットを使用して、ナビゲーション本体を固定する

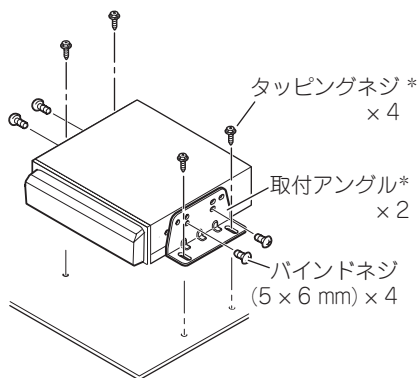
固定方法については、キットに付属の説明書をご覧ください。

床に取り付ける場合



* 別売のキット付属品

取付ボードに取り付ける場合



* 別売のキット付属品

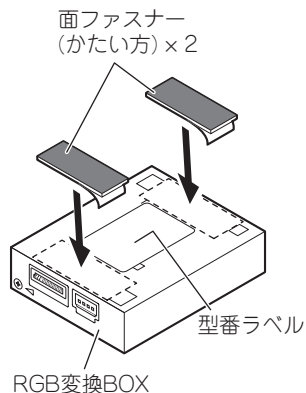
RGB変換BOXの取り付け

取り付け上のご注意

- 次のような場所には絶対に取り付けしないでください。高温により故障するおそれがあります。
 - * ダッシュボードやリアトレイの上のように、直射日光の当たる場所。
 - * ヒーターの吹き出し口の近く。
- ドア近くの雨水がかかりやすい場所には取り付けしないでください。
- スペアタイヤボードなど、車の振動で動く場所には絶対に取り付けしないでください。
- スペアタイヤ、ジャッキ、工具などの出し入れの邪魔にならない場所を選んで取り付けてください。
- 床面の下部に、マフラー等の高温になるものがあり、床面が熱くなるような場所には取り付けしないでください。
- フロントシート下に取り付けるときは、シートのスライドに支障がないように取り付けてください。

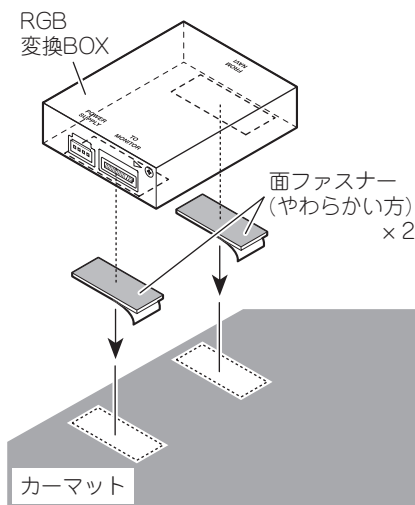
1 面ファスナー(かたい方)をRGB変換BOXの底面に貼り付ける

面ファスナーを貼り付ける前に、汚れをよく拭きとってください。



- * 型番ラベルには、RGB変換BOXの型番、製造番号が記載されています。面ファスナーを貼るときは、型番ラベルを隠さないように貼り付けてください。

2 面ファスナー(やわらかい方)を取り付け場所に貼り付ける



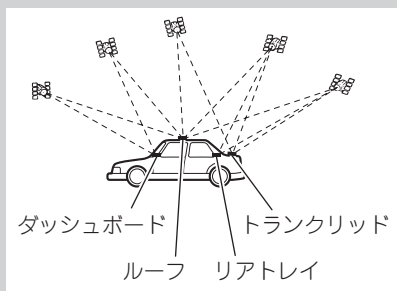
メモ

- 面ファスナー(かたい方)がカーペットに貼り付く場合は、カーペットに直接取り付けることもできます。この場合、面ファスナー(やわらかい方)は使用しません。

GPSアンテナの取り付け

取り付け上のご注意

- GPSアンテナは、GPS衛星の電波が車のボディなどで遮られない場所に水平に取り付けてください。(どの方向からも電波が受信できるように、できるだけ車外のルーフやトランクリッドに取り付けてください。)



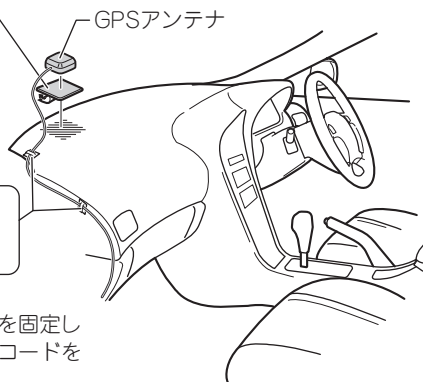
- GPSアンテナを塗装しないでください。アンテナの性能が落ちる場合があります。
- GPSアンテナを車内に取り付ける場合は、必ず付属の金属シートを使用してください。使用しないと、十分な受信感度が得られなくなります。

- 付属の金属シートは、切って小さくしないでください。十分な受信感度が得られなくなります。
- GPSアンテナは、ナビゲーション本体から30cm以上離して設置してください。また、あまったGPSアンテナコードをまとめて置くときも、ナビゲーション本体から30cm以上離して置いてください。近くに設置すると、受信感度が低下してしまいます。
- GPSアンテナを取り外すときは、アンテナコードを引っ張らないでください。アンテナに付いている磁石が強力なため、コードが抜けてしまうことがあります。
- GPSアンテナは磁石で取り付けます。アンテナを車のボディに取り付ける場合は、ボディを傷つけないように慎重に取り付けてください。
- GPSアンテナを車外に取り付けた場合、自動洗車機で洗車するときは、アンテナを取り外して車内にしまってください。アンテナが外れて車のボディを傷つけることがあります。

車内(ダッシュボードやリアトレイの上)に取り付ける場合

なるべく水平な場所、またはアンテナがウィンドウの外に向く場所に金属シートを貼り付け、GPSアンテナを金属シートの上に置きます。(GPSアンテナの磁石で固定されます。) アンテナの取り付け位置は「取付け状態」画面(42ページ)を参考に、十分に受信できる位置に取り付けてください。

金属シート
必ず使用してください。裏面の保護シートをはがして貼り付けます。



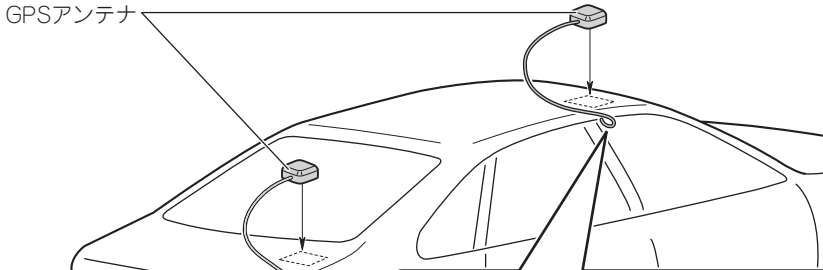
メモ

- 車のウィンドウガラスの一部に、GPS衛星の電波を通さないものがあります。GPSアンテナを車内に取り付けたときに、GPS衛星からの電波を受信しにくい場合は、一度アンテナを車外に取り付けてみてください。

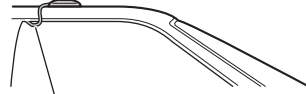
クランプ ×5
クランプで要所を固定しながら、アンテナコードを引き回します。

車外（車のボディ）に取り付ける場合

車のルーフやトランクリッドの、なるべく水平な場所で、さらにコード長が本体に届く場所にGPSアンテナを置きます。（GPSアンテナの磁石で固定されます。）



アンテナコードをドアの上側から車内に引き込む場合



雨水がコードを伝わって車内へ入らないように、コードを外側でU字形に曲げます。



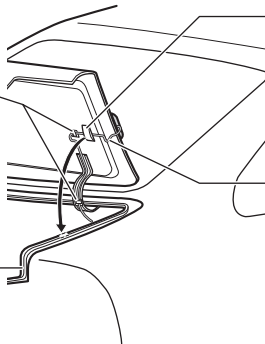
クランパー ×5
クランパーで要所を固定しながら、アンテナコードを引き回します。

アンテナコードをトランク内に引き込む場合



クランパー ×5
クランパーで要所を固定しながら、アンテナコードを引き回します。

ゴムパッキング



防水パッド
トランクを閉めたとき、ゴムパッキングの上に防水パッドが水平に当たるようにします。

雨水がコードを伝わって車内へ入らないように、コードをゴムパッキングの外側でU字形に曲げます。

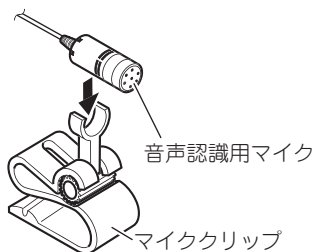
音声認識用マイクの取り付け

取り付け上のご注意

ハンズフリー時に明瞭な音質を得るために、マイクはできるだけドライバーの近くに取り付けてください。また、エコー（反響音）を軽減する為なるべく車のスピーカーから離れた位置に設置してください。

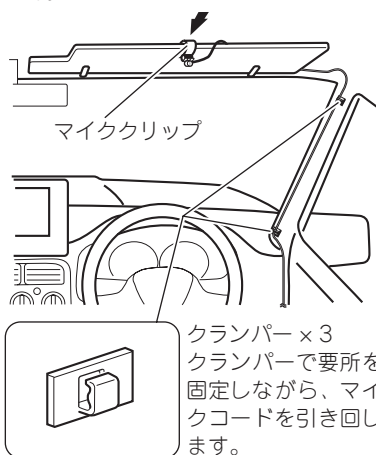
サンバイザーにはさんで取り付ける場合

1 マイククリップにマイクを取り付ける



2 サンバイザーにマイククリップを取り付ける

サンバイザーを上げた状態で取り付けます。サンバイザーを下げると、正しく音声認識されません。

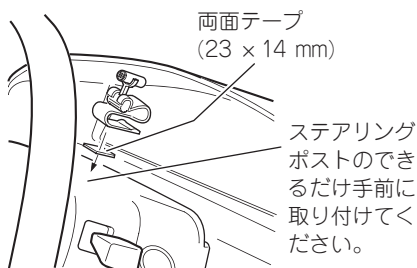


ステアリングポストに取り付ける場合

1 マイククリップにマイクを取り付ける



2 ステアリングポストにマイククリップを取り付ける

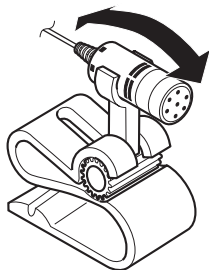


クランパー×3
クランパーで要所を固定しながら、運転操作に支障がないようにマイクコードを引き回します。



マイク角度の調節のしかた

マイクの角度は、マイククリップの可動部を前後に動かして調節します。

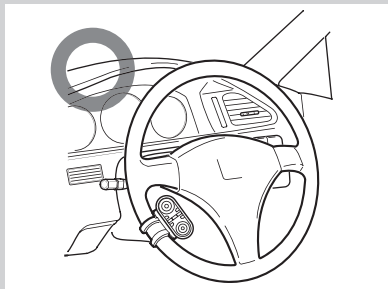
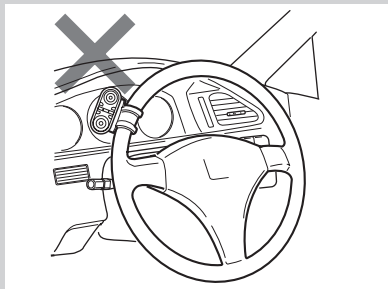


リモコンの取り付け

取り付け上のご注意

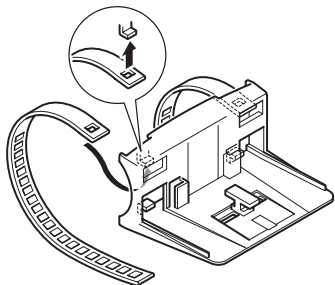
- リモコンは必ず固定しておいてください。固定しないで放置しておくと、リモコンが転がり、ブレーキペダルの下に入り込むと大変危険です。
- エアバッグなどの車の安全装置が働いたときに、その動作の妨げになる場所には絶対に取り付けないでください。
- 車のメーター類の、視認の妨げになる場所には取り付けないでください。
- 取り付ける位置や向きによっては、リモコンの信号がリモコン受光部にとどかない場合があります。固定する前に、取り付ける位置で、動作確認を行ってください。
- ハンドルに取り付けるときは、ハンドルの左または右側のリモコン受光部に近い方（右ハンドル車の場合はハンドルの左側、左ハンドル車の場合は右側）に取り付けてください。逆側に取り付けると、ステアリングリモコンの信号がリモコン受光部にとどかないため、動作しないことがあります。
- ハンドルに取り付けるときは、付属のベルトでしっかりと固定してください。しっかり固定しないと、運転操作の邪魔になり、交通事故の原因となります。

- ハンドルに取り付けるときは、ハンドルの外側に取り付けしないでください。運転操作の邪魔になり、交通事故の原因となります。必ずハンドルの内側に取り付けてください。

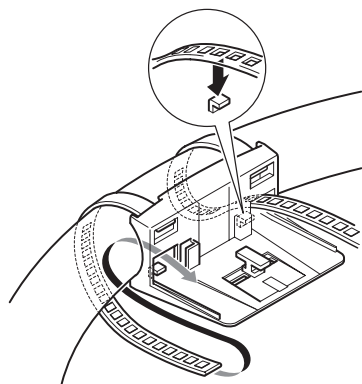


ハンドルに取り付ける場合

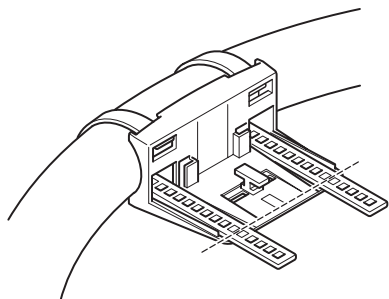
- 1** ホルダーにベルトを取り付ける



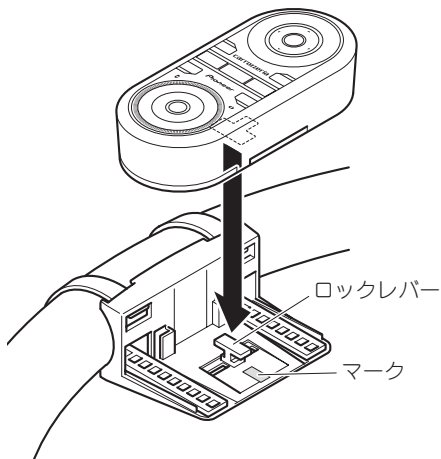
- 2** ハンドルにベルトを巻き付け、ホルダーを固定する



- 3** ベルトの余りを切り取る



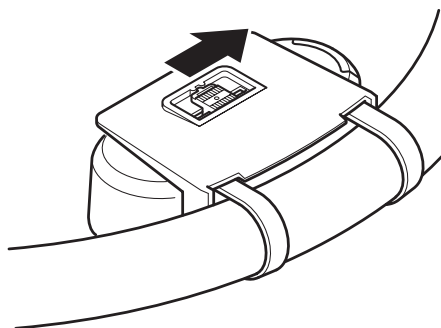
- 4** ステアリングリモコンを取り付ける



メモ

- 取り付け前に、ロックレバーがマークの位置にあることを確認してください。

- 5** 裏側のロックレバーを“カチッ”と音がするまでスライドしてリモコンを固定する



メモ

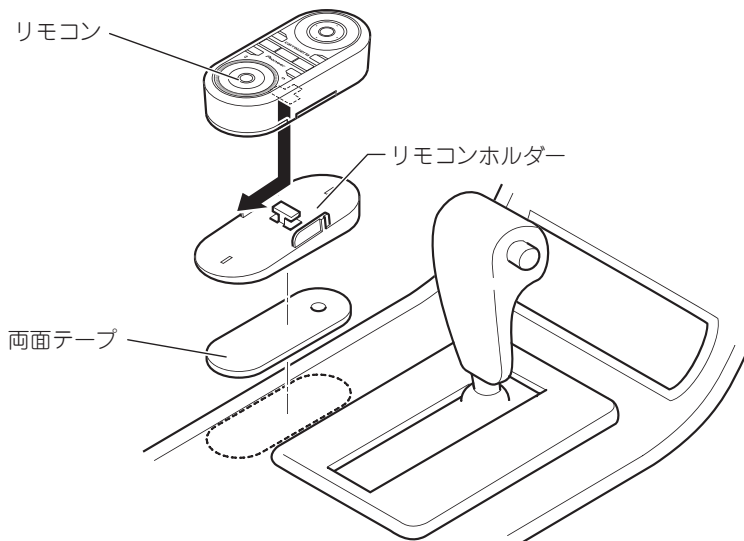
- 上図は右ハンドル車の例です。左ハンドル車に取り付ける場合は左右逆に取り付けてください。

リモコンの取り付け

つづき

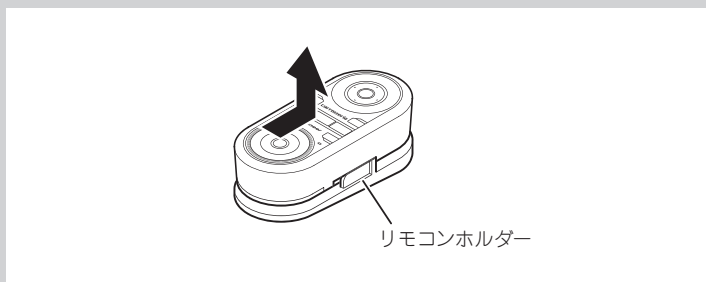
両面テープでコンソールに取り付ける場合

付属の両面テープを使用して、リモコンホルダーを貼り付けます。



リモコンの取り外し方

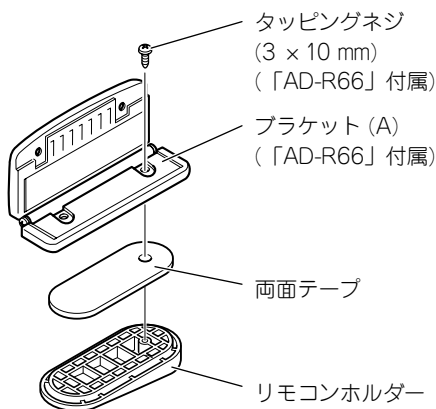
リモコンをリモコンホルダーから取り外すときは、図のようにスライドさせてから取り外します。



別売の「AD-R66」を使用してコンソールに取り付ける場合

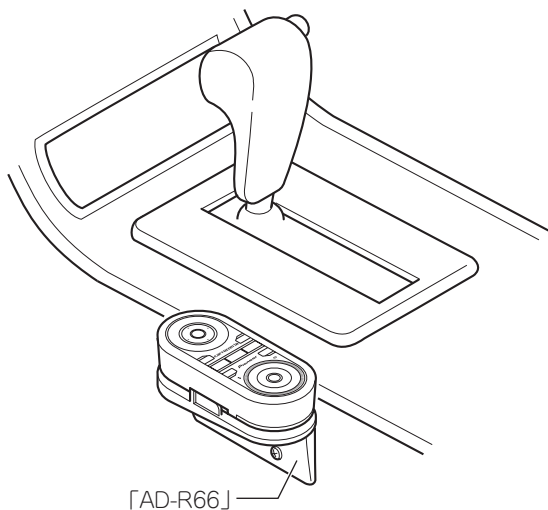
センターコンソールの幅が狭く、センターコンソール上にリモコンの取り付けスペースがない場合は、別売のメインコントローラーアタッチメント「AD-R66」を使用して取り付けます。

1 「AD-R66」に付属のブラケット (A) に リモコンホルダーを取り付ける



2 「AD-R66」を 車に取り付ける

「AD-R66」の『取付説明書』を参照して、車に取り付けます。



フィルムアンテナの取り付け

取り付け上のご注意

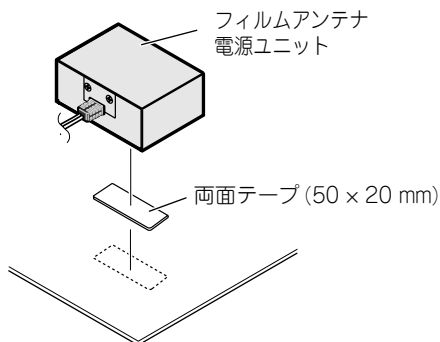
- 保安基準*に適合させるため、本書をよくお読みになり、正しく貼り付けてください。
*保安基準とは、道路運送車両の保安基準第29条第4項第6号に対する、国土交通省令第95号のことをいいます。
- 組み合わせた機器側に、アナログテレビ用の4素子のアンテナがある場合、そのうち1素子をFM多重用として使用できる場合があります。その場合は、本機に付属のフィルムアンテナは使用しません。詳しくは、組み合わせた機器側の取付説明書をご覧ください。
- アンテナは、フロントウィンドウ上部専用です。車体の側面（ドアやフロントクォーターウィンドウなど）や、後面（リアウィンドウなど）に貼り付けると、受信感度が低下する場合があります。
- 車種によって、取り付けられない場合があります。販売店に相談してください。
- 熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど、電波を通さないガラスを使用した車種の場合には、受信感度が極端に低下します。お買い上げの販売店に確認してください。
- フロントガラス上部に横362 mm × 縦105 mmのスペースが無い車には、取り付けることができません。
- 他のアンテナとの間隔は、他のアンテナの説明書で指定されている距離以上離して貼り付けてください。
- ピラーにフロントエアバッグを搭載している車両には、取り付けることができません。
- 必ずフロントウィンドウの指定の位置・寸法内に貼り付けてください。
- フィルムアンテナは折り曲げないように、取り扱いに注意してください。
- 作業場所は、風が無く、空気中にゴミ、ホコリなどが無い場所を選んでください。
- 気温が低いときに作業を行うときは、接着力の低下を防ぐため、車内ヒーターやデフロスタースイッチをONにしてフロントウィンドウを暖めておいてください。

● 地上デジタルTVチューナーのフィルムアンテナなど、他のフィルムアンテナとの干渉を考慮して貼り付け位置を決めてください。(P. 次ページ)

● 一度貼り付けると、粘着力が弱くなるため貼り直しできません。必ずコードおよびフィルムアンテナを仮止めし、コードの引き回しなどを十分に検討してから貼り付けてください。

フィルムアンテナ電源ユニットの取り付け

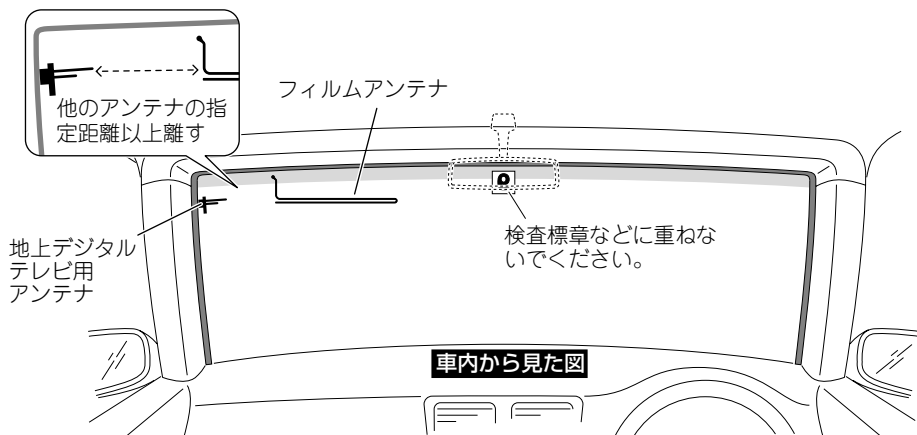
フィルムアンテナ電源ユニットは、付属の両面テープを使用して取り付けます。



貼り付け位置について

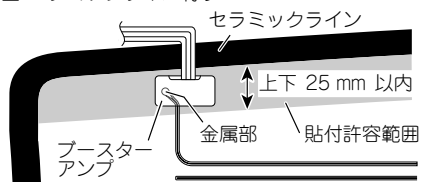
⚠️ 必ずお守りください

運転に安全な視界を確保し、性能を十分に発揮させるために、必ず下図の「ブースターアンプおよび金属部の貼付許容範囲」の位置に貼り付けてください。許容範囲外に貼り付けると道路運送車両の保安基準に適合せず、車検に通らなかったり、整備不良の対象となります。

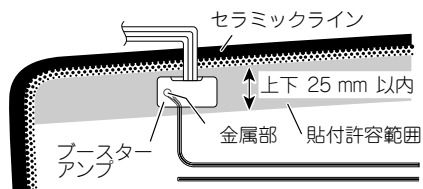
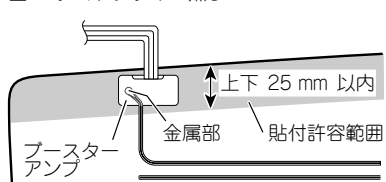


ブースターアンプおよび金属部の貼付許容範囲

■ セラミックライン有り



■ セラミックライン無し

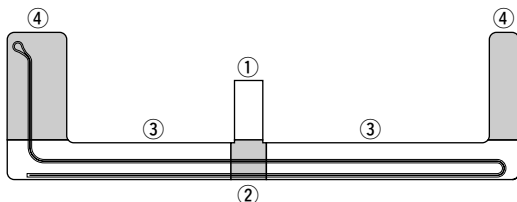


フィルムアンテナの取り付け

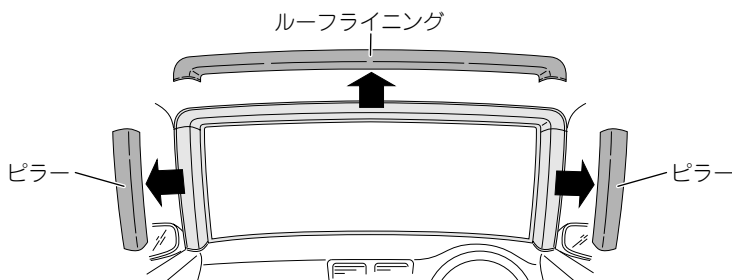
つづき

フィルムアンテナを貼り付ける

フィルムアンテナの裏シートには5本のスリットが入っています。下図の番号順に裏シートをはがし、フィルムアンテナをフロントウィンドウに貼り付けます。

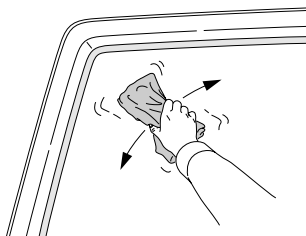


1 車内の内張り（ピラー、ルーフライニングなど）を取り外す



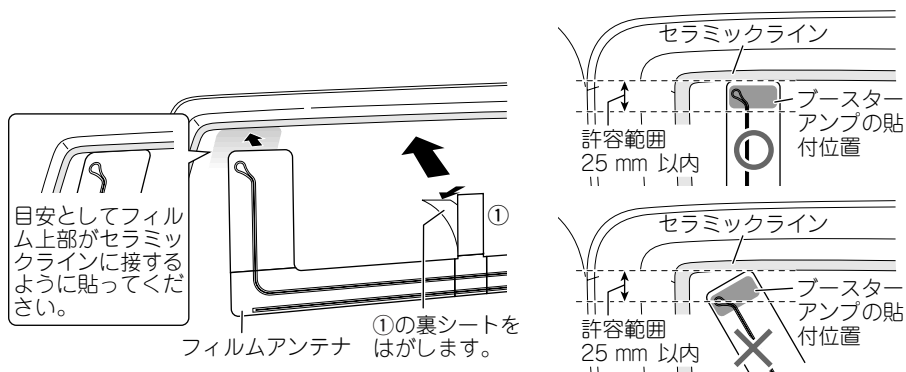
2 フロントウィンドウ内側の汚れ、油などを取り除く

フィルムアンテナを貼り付ける場所の湿気、ホコリ、汚れ、油などを、付属のクリーナークロスで取り除いてください。



3 ①をはがし、フロントウィンドウ内側に仮貼りを行い、貼り付け位置を決める

注：別売の地上デジタルTVチューナーなどのフィルムアンテナを取り付ける場合、お互いの干渉を考慮して、貼り付け位置を決めてください。

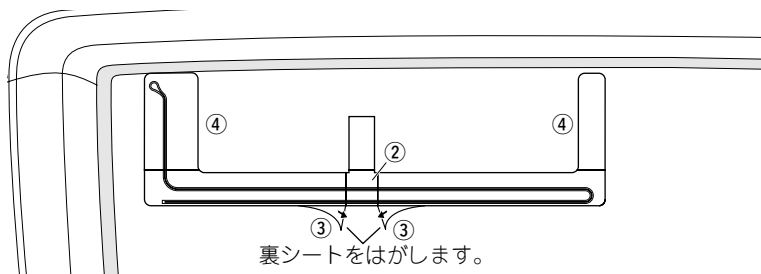


メモ

- 取り付け例としてセラミックライン有りの車で説明しています。詳しくは貼付許容範囲 (P. 37ページ) を参照してください。

4 ②~④を番号順にはがしながら、フロントウィンドウにしっかりと密着させる

- ③、④は左右どちらが先でもかまいません。
- ③、④をはがすときには、内側からシワにならないように密着させてください。

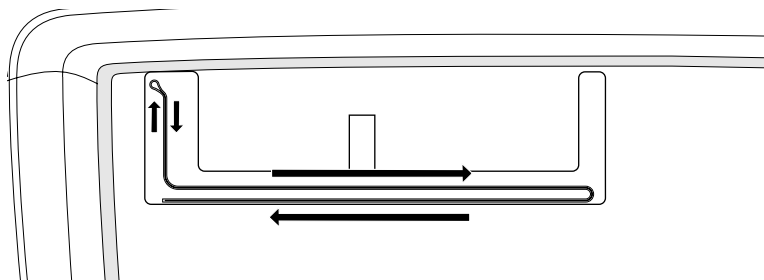


フィルムアンテナの取り付け

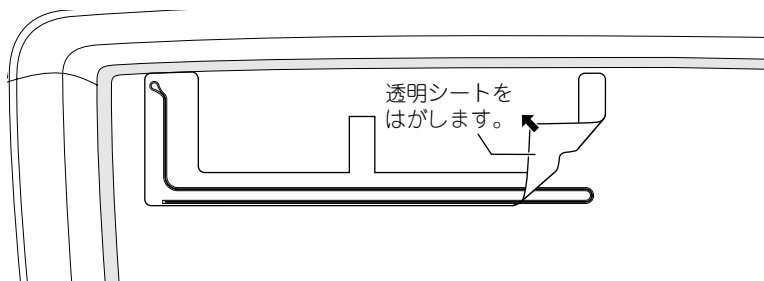
つづき

5 透明シートの上から しっかりと密着させる

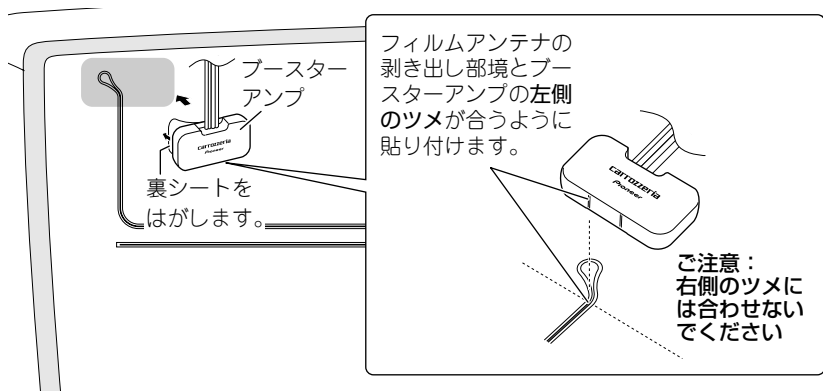
下図の矢印の方向に、アンテナパターンに沿ってこすり、密着させてください。



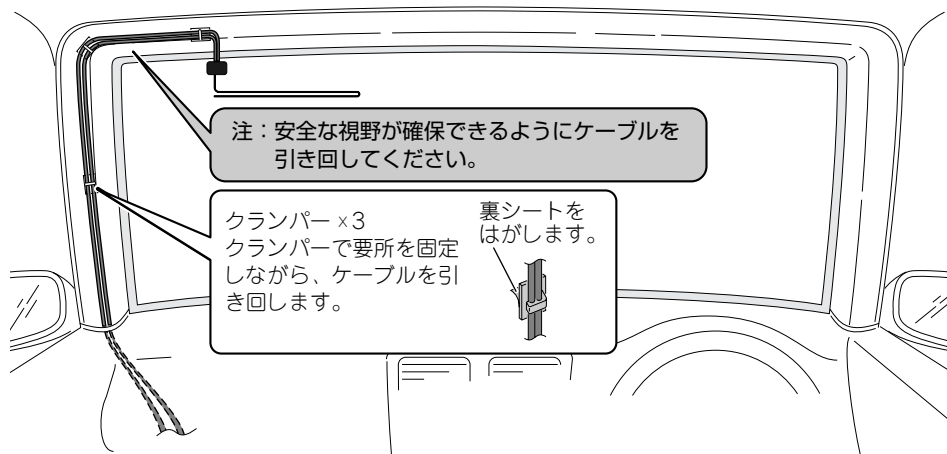
6 透明シートを ゆっくりとはがす



7 ブースターアンブをフィルムアンテナの 金属部に貼り付ける



8 ケーブルを 引き回す



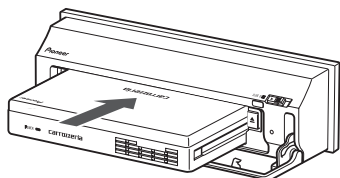
9 内張りを 元に戻す

接続・取り付けの確認を行う

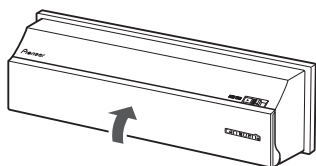
接続・取り付けが終わったら、本機を動作させ、接続・取り付けの確認を行ってください。

1 ブレイクユニットを「カチッ」と音がするまで挿入する

(※ 『スタートブック』)



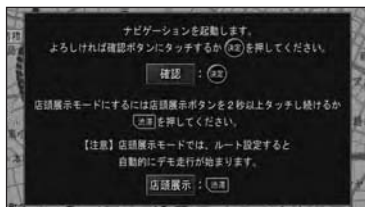
2 フロントカバーを閉じる



3 車のエンジンをかける



4 つぎの画面が表示されたら画面の「確認」にタッチする



この画面は、初期学習が完了していないときにエンジンをかけると表示されます。

注：店頭展示にタッチしないでください。
タッチしてしまった場合は、一度車のキーを抜いてからエンジンをかけ直してください。

5 「メニュー」を押し、情報・通信 — ハードウェア情報 — 取付け状態の順にタッチする



6 取付け状態を確認する (※ 次ページ)



メモ

- 正常に動作しない場合は、リセットボタンを押してください。(※ 『スタートブック』)

■取付け状態画面の見かた

車速パルス：

車速信号入力（ピンクリード線）の接続状態を確認できます。正しく接続されていれば、車を走行させると“ピッ”と発音音がして、数字とバーが表示されます。数字とバーは本機が測定したパルス数をあらわしています。“ピッ”音とパルス数は速度によって変化します。車速パルスの確認は、低速（時速5km程度）で行ってください。

電源電圧：

車のバッテリーから本機に供給されている電源電圧が表示されます。エンジンアイドリング時に11 V～15 Vの範囲にないときは、電源コードの接続状態を再度確認してください。なお、表示誤差（±0.5 V程度）があるため、この表示は参考値です。

イルミネーション：

イルミネーション（橙/白リード線）の接続状態を確認できます。車のライトを点灯させてください。ライトを点灯すると【ON】、消すと【OFF】が表示されます。

バック信号：

バック信号入力（紫/白リード線）の接続状態を確認できます。パーキングブレーキをかけブレーキペダルを踏んでから、シフトレバーをR（リバース）の位置からR（リバース）以外の位置にするとLOWからHIGH、またはHIGHからLOWに切り換わります。


パーキングブレーキ：

パーキングブレーキスイッチ（若草色リード線）の接続状態を確認できます。ブレーキペダルを踏んで、パーキングブレーキをかけ直してください。パーキングブレーキを解除すると【OFF】、かけ直すと【ON】が表示されます。


ETC/DSRCユニット：

ETCユニットまたはDSRCユニットの接続状態を確認できます。必ずセットアップしてから確認してください。正しく接続されていれば【OK】、未接続の場合には【NG】、エラーがある場合はエラー番号が表示されます。その右側には車載器管理番号が表示されます。

GPSアンテナ：

GPSアンテナの接続状態と受信状態を確認できます。正しく接続されていれば【OK】、未接続の場合には【NG】が表示されます。右側に表示されるアンテナマークでGPSアンテナの受信状態を確認できます。電波の受信しやすい見晴らしの良い場所で2本以上バーが表示されていれば良好です。バーが1本以下の場合は、GPSアンテナの位置を変えて2本以上バーが表示される位置に取り付けてください。

取付位置：

ナビゲーション本体の取り付け状態を確認できます。必ずエンジンをかけた状態で停車して確認してください。停車時に【NG（振動）】が表示された場合は、測位の精度が悪くなります。車の振動が少ない位置にしっかりと取り付けて、停車時に【OK】が表示されるのを確認してください。また走行後に【NG（取付角）】が表示された場合は、ナビゲーション本体の取付角度が許容範囲外です。取付角度（ 次ページ）を設定し、走行後に【OK】が表示されるのを確認してください。

ビーコンユニット：

ビーコンユニットの接続状態を確認できます。正しく接続されていれば【OK】、未接続の場合には【NG】が表示されます。

Bluetoothユニット：

Bluetoothユニット「ND-BT10」の接続状態を確認できます。正しく接続されていれば【OK】、未接続の場合には【NG】が表示されます。その下には、現在接続中のBluetooth機器の接続情報（接続機器名、BDアドレス、使用プロファイル、受信強度）が表示されます。

※接続情報を確認するには、ナビゲーションのBluetoothの接続設定を行い、Bluetooth機器と通信接続する必要があります。詳しくは『ナビゲーションブック』の「Bluetoothの接続設定を行う」をご参照ください。

通信モジュール：

通信モジュールの接続状態を確認できます。正しく接続されていれば【OK】、未接続の場合には【NG】が表示されます。

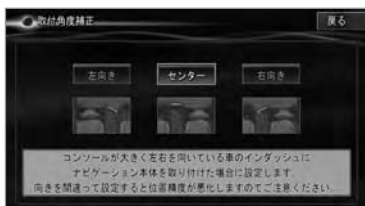
取付角度の設定を行う

運転席側（左右方向）に5度以上（最大10度）傾いたコンソールにナビゲーション本体を取り付けた場合は、本来の性能を発揮するために取付角度の設定を行ってください。

- 1 「メニュー」を押し、**編集・設定**
— **各種設定** — **取付角度補正** の順
にタッチする



- 2 設定する向きにタッチする

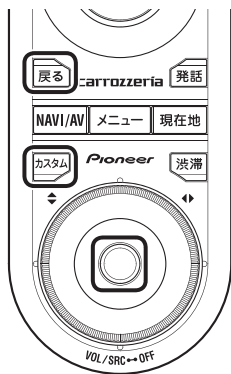


- 3 **終了** にタッチする

リモコンの設定を行う

本機とAVソースユニット「AVX-P90DV」を組み合わせた場合は、リモコンの初期設定を行います。AVメインユニット「AVHシリーズ」と組み合わせた場合は、リモコンの初期設定を行う必要はありません。

1 戻る、カスタム、○ (SRC) を同時に2秒以上押す



▼
初期設定が完了します。

メモ

- 初期設定が完了したことを確認するには、**NAVI/AV** を押してください。地図画面とAVソースの画面が切り換われば完了しています。画面が切り換わらないときは、もう一度設定しなおしてください。
- リモコンの電池を交換すると、工場出荷時の状態に戻ります。交換後はもう一度初期設定を行ってください。

センサー学習のエラーメッセージ

接続確認と各種設定を完了し、走行を開始すると本機は自動的に3Dハイブリッドセンサーの初期学習を行います。その際、つぎのようなエラーメッセージが表示されたときは、エラーの原因を取り除いてください。

<走行開始後のエラーメッセージ>

- [車速信号線が外れました。接続を確認してください。]
- [車速パルス信号が異常です。接続を確認してください。]
ピンクリード線（車速信号入力）の接続先および接続状態を確認してください。
- [3Dハイブリッドセンサーが正常に動作していません。本体の取り付け角度や向きを確認してください。取り付けが正常な場合は、販売店または修理受付センター（沖縄県のみ沖縄サービスステーション）に御相談ください。]
「ナビゲーション本体の取り付け（☎ 23ページ）」を参照して、取り付け角度が間違っていないか確認してください。取り付け角度が正しい場合は、内蔵センサーの故障が考えられます。販売店または修理受付センター（沖縄県のみ沖縄サービスステーション）にご相談ください。
- [車速パルスが接続されていません。簡易ハイブリッドで動作します。]
ピンクリード線（車速信号入力）を接続してください。接続すると、3Dハイブリッドで初期学習をやり直します。

<その他のエラーメッセージ>

- [測位不能になりました。販売店または修理受付センター（沖縄県のみ沖縄サービスステーション）に御相談ください。]
ナビゲーション本体の故障、劣化等が考えられます。販売店または修理受付センター（沖縄県のみ沖縄サービスステーション）にご相談ください。
- [GPSアンテナが接続されていません。接続を確認してください。]
- [GPSアンテナが異常です。販売店または修理受付センター（沖縄県のみ沖縄サービスステーション）に御相談ください。]
GPSアンテナの接続を確認してください。正しく接続されている場合は、断線・故障・劣化等が考えられます。販売店または修理受付センター（沖縄県のみ沖縄サービスステーション）にご相談ください。
- [内蔵のセンサーが異常です。販売店、または修理受付センター（沖縄県のみ沖縄サービスステーション）に御相談ください。]
内蔵のセンサーの故障が考えられます。販売店または修理受付センター（沖縄県のみ沖縄サービスステーション）にご相談ください。
- [取り付け位置の変化を検出しました。センサーの再学習を開始します。]
本機の取り付け位置の変化を自動で検出した事をお知らせするメッセージです。